

第40回法人会全国大会（鹿児島大会）参加報告

副会長 朝野 佳伸

第40回法人会全国大会（鹿児島大会）が、令和6年10月3日、城山ホテル鹿児島で開催され、全国の各法人会から約1,700名の会員が集い、当会からは2名が参加しました。

鹿児島市内に到着後、鹿児島県歴史・美術資料センター黎明館（旧鹿児島城）にてウェルカムイベントの種子島火縄銃保存会による火縄銃試射を見学しました。空砲とはいえ地に響く轟音に圧倒されると共に、近世の幕開けとなった鉄砲伝来の歴史に思いを馳せました。

第1部の大会式典では、一般社団法人鹿児島県法人会連合会の今別府英樹会長の開会の辞、主催者を代表して小林栄三全法連会長の挨拶に続き、奥達雄国税庁長官、塩田康一鹿児島県知事ほか来賓祝辞の後、会員増強等の表彰が行われ、当会は「優秀賞」等をいただきました。その後「令和7年度税制改正に関する提言」の報告、昨年度の全国青年の集いにおける租税教育活動プレゼンテーションにて最優秀賞を受賞した長崎県連の佐世保法人会青年部会と健康経営大賞を受賞した沖縄県連の北那覇法人会青年部会による報告、そして「大会宣言」により締めくくられました。最後に次期開催地の高知県連会長の閉会の挨拶と高知県紹介動画が上映され幕を閉じました。

第2部の記念講演では、ANAホールディングス株式会社取締役会長の片野坂真哉氏が、「新型コロナ禍で大打撃を受けた航空業界 危機下の経営戦略を語る」との演題で講演されました。国内線・国際線の需要が同時に無くなるという未曾有の経営危機の中、社長として実行した数々の戦略について話されました。中でも2300人もの社員を330の企業や自治体に出向してもらうことで雇用継続を守り通したこと、最悪のシナリオに基づいて知恵を絞り手持ち資金の確保に尽力したこと、そしてトップとして迅速に誠実に社員にメッセージを伝えることの大切さがとても印象に残りました。

第3部の懇親会では、プレミアム焼酎3Mと鹿児島県産の食材を使った食事を堪能しながら、情報交換や旧知の会員と交流を深めることができました。